

# 平成30年度の主な事業

市民一人一人が幸せに暮らせるまちづくりを進め、いつまでも住み続けたい、住んでみたいまちをめざすため、4つの方向性に基づいて重点的に予算を配分しています。

※1万円未満の数字は四捨五入、( )内は平成29年度の予算額です  
※市ホームページに当初予算の概要を掲載しています

## 方向性1 暮らしを守る

<b>新規</b> 中山間地域の交通結節点整備 バスの待合施設の整備や、バスロケーションシステムの導入などにより、利用者の利便性向上に取り組めます。	2,800万円
<b>新規</b> 高齢者運転免許自主返納者への支援 運転免許証を自主的に返納した70歳以上の人を対象に自主運行バスの無料利用者証の交付などによる支援を行います。	206万円
<b>拡充</b> 空き家対策の推進 まちづくりに資する空き家の活用に関して地域と協働して取り組みます。また、空き家を活用するための改修工事費用などの補助制度を拡充します。	1,248万円 (553万円)
<b>新規</b> 合葬および樹木葬墓地の整備 社会環境の変化に伴う墓地形態に対する市民ニーズに応えるため、合葬墓地および樹木葬墓地を整備します。	2,000万円

## 方向性2 人を育む

<b>拡充</b> 情報化社会に対応するICT教育の推進 デジタル教科書への対応など、ICT活用教育のための環境整備を推進し、分かりやすい授業づくりをめざします。	8,146万円 (5,430万円)
<b>新規</b> 小・中学校普通教室への空調設備の整備 全小・中学校の普通教室の空調設備整備に向けて、工事発注のための業務に着手します。	1,006万円
<b>新規</b> 特定不妊治療費の助成 不妊治療を希望する人の経済的負担を軽減するため、特定不妊治療の費用の一部を補助します。	675万円
<b>新規</b> 市制施行30周年記念事業 市制施行から30周年を迎えるにあたり、まちづくりを振り返るとともに廿日市市を未来につなぐ記念事業を実施します。	1,404万円

## 方向性3 資源を活かす

<b>中山間地域の地域力強化</b> 将来に希望を持ち、安心して心豊かに、笑顔で幸せな生活を営むことができるよう、中山間地域の振興に向けて、次の事業に重点的に取り組みます。	1億2,870万円 (1億2,121万円)
<b>地域支援員の配置</b>	2,173万円 (2,534万円)
<b>浅原交流施設の整備</b>	9,242万円 (8,742万円)
<b>学校跡地の活用</b>	50万円 (191万円)
<b>拡充</b> 佐伯高等学校の魅力化支援	786万円 (345万円)
<b>新規</b> 公営塾(無料)の開設	69万円
<b>定住中間支援機能の事業化の検討</b>	200万円 (309万円)
<b>新規</b> 小さな拠点づくり(吉和地域)	350万円
<b>生涯学習・まちづくり拠点施設の整備</b> 平成30年秋の供用開始に向けて、大野東市民センターを新築します。	4億864万円 (2億1,311万円)
<b>宮島おもてなしトイレの整備</b> 観光案内や休憩スペースを備え、誰でも安心して使えるトイレを整備します。	1億2,122万円 (1,100万円)

## 方向性4 新たな可能性に挑む

<b>新機能都市開発事業の推進</b> 平良・佐方地区の地権者の居所把握や意向確認、測量調査、関係機関協議などを行います。	1億1,030万円
<b>宮島口地区の賑わい創出のための環境整備</b> 宮島口地区を新たな観光交流拠点とし、賑わいを創出できるよう、交通・環境・景観などの総合的な整備を行います。	13億8,091万円 (8億5,681万円)
<b>シティプロモーション(※)の推進</b>	2,897万円 (2,927万円)
<b>産業支援プラットフォーム(※)の運営</b>	1,514万円 (1,447万円)
<b>拡充</b> ホストタウンの推進 2020年東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして、メキシコ競技団体の事前合宿を受け入れることにより、市民とアスリートとの交流を通して「東京2020」の機運醸成を図ります。	3,000万円 (41万円)

※シティプロモーション…市の魅力を市内外に情報発信することで、市民の市に対する愛着と誇りを育むとともに、市外から市内への移住促進を図る取り組み  
※産業支援プラットフォーム…産学官による多様な主体が参画して対話する場。市内での経済活動や新規創業などを総合的に支援していく体制

# 当初予算

平成30年度

問い合わせ 財政課 ☎9126

## 「市制施行30周年 躍動と未来を拓く 積極予算」

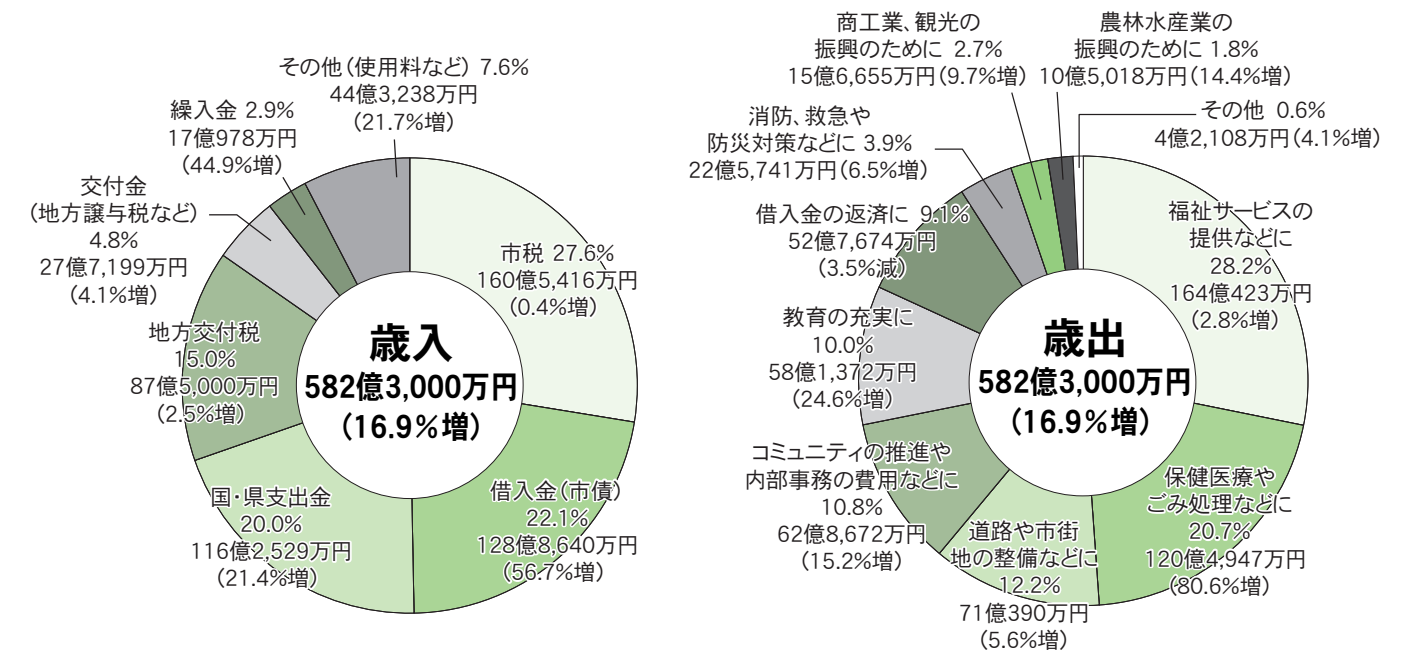
今年度の一般会計予算額は、

# 582億3,000万円

安定した財政運営を図りながら、廿日市市第6次総合計画を着実に推進することで、市の魅力ある資源をより輝かせ、さらに豊かで活力あるまちになるよう取り組みます。  
また、廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略で、めざすまちの姿を「そこ！にしかない魅力と住みやすさを感じるまち・はつかいち」とし、この実現に向け「まち全体で子どもを育てる」「女性の視点や感性をいかした誰もが住みやすいまち」を大切な視点に、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を作ること、人口減少の克服と地域の活性化を図ります。

### ■一般会計歳入・歳出予算内訳

※1万円未満の数字は四捨五入、( )は対前年度比



### ■市民一人あたりの予算(一般会計)

※平成30年4月1日現在の人口(117,487人)で算出

# 49万5,600円

<b>民生費</b> 福祉サービスの提供などに 13万9,600円	<b>衛生費</b> 保健医療やごみ処理などに 10万2,600円	<b>土木費</b> 道路や市街地の整備などに 6万500円	<b>総務費</b> コミュニティの推進や内部事務の費用などに 5万3,500円	<b>教育費</b> 教育の充実に 4万9,500円
<b>公債費</b> 借入金の返済に 4万4,900円	<b>消防費</b> 消防、救急や防災対策などに 1万9,200円	<b>商工費</b> 商工業、観光の振興のために 1万3,300円	<b>農林水産業費</b> 農林水産業の振興のために 8,900円	<b>その他</b> 議会の活動に要する費用などに 3,600円